

2010年8月市議会 請願

※請願第5号は取り下げ

[請願第6号](#) グラウンドゴルフ場設置について

[請願第7号](#) 沖縄への新基地建設と全国への米海兵隊訓練移転を進める「日米合意」の撤回を求める意見書の採択について

グラウンドゴルフ場設置について

【紹介議員：共産党、湖誠、市民ネ、公明、大志】

世は今や、本格的な高齢者社会を迎えましたが、医療や福祉に頼らないように中高年の私達が自らの健康保持や福祉の増進に努めることが望まれている昨今、住み慣れた地で地域のきずなを大切にしながら、健康で明るく、楽しく元気に社会貢献が出来るような地域づくりが求められています。

ご承知のように「グラウンドゴルフ」は、昭和 57 年に鳥取県で生涯スポーツ活動推進事業の一環として考案されました。以来、子どもから高齢者まで幅広く愛されるニュースポーツとして全国的に普及し、ことに、中高年の健康づくりや生き甲斐づくり、仲間づくりに欠くことの出来ないものとなって発展してきました。

当、大津市においても愛好者は年毎に増え、毎日のように公園の一角やグラウンドの空いている日を互いに利用しながら、健康と生き甲斐、そして地域の連携づくりに励んでいるところであります。

そのような現状の中で、近隣の市を眺めてみると、全ての市に専用のグラウンドゴルフ場が設置されています。私達愛好者から見れば羨ましい限りであり、今日まで全てをリードしてきた大津市民にとっては極めて惨めにさえ感じます。

私達愛好者は県都大津市に相応しい、全国大会も可能な県下一、64 ホール（32 ホール 2 面約 2 万平方メートル）の専用グラウンドゴルフ場の設置を強く望むものであります。

そのことが、他都市からの誘客や、生涯にわたる「日本一元気」な健康都市づくり推進の起爆剤となって湖都のイメージアップを図るとともに、観光行政との連携により経済の波及効果をもたらすものと確信いたします。

また、大津市は南北に細長いため、中高年者の平常利用の面から、市内 3 か所（北・中・南）にグラウンドゴルフ場の整備について、かねてより当協会から市に要請していますが、ブロック交流や結の湖都としての都市機能の進展にも意義あるものと存じますので、併せて早期整備を要望するものであります。

以上、何とぞ趣旨に深い御理解をいただきますとともに、早期実現にお力添えを賜りますようお願いいたします。

請願者：大津市グラウンドゴルフ協会

**沖縄への新基地建設と全国への米海兵隊訓練移転を進める「日米合意」の撤回を求める
意見書の採択について**

【紹介議員：共産党】

日本政府は、5月28日に米政府との間で交わした合意にもとづき、沖縄県名護市辺野古周辺への米軍普天間基地代替施設の建設と全国の自衛隊施設等への米海兵隊訓練の移転を進めようとしています。

しかし、この「日米合意」は、沖縄県民の同意を全く得ていないものであり、また滋賀県内にある饗庭野を含め、全国の自衛隊基地の「日米共同使用」化をさらに拡大しようとするもので、私たちは強く反対し、撤回を求めています。

つきましては、この問題について意見書を日本政府に提出されるよう、案を添付して請願します。

請願者：滋賀県平和委員会